

「二つが残る」「蘭」「壱」... 大和国(奈良)の権門として存続した。大和国「待」の「へん」やツクリには、豊で勢力を蓄え、門前町を形成する。その一帯が現「東」「大」「寺」が隠れ在の京都、奈良市の中心市街地だ。平安時代、奈良は手をいれることで、権勢を誇っているかのようだ。京都の貴族からは「南都」が君臨した。幕府が鎌倉から室町に変わっても、なお8世紀末の長岡京、後の平安京への遷都で、平城宮をさない宗教の権門として存続した。武家が和国の支配権を握

権力者が重



長岡京を移したと... 権門として存続した。大和国「待」の「へん」やツクリには、豊で勢力を蓄え、門前町を形成する。その一帯が現「東」「大」「寺」が隠れ在の京都、奈良市の中心市街地だ。平安時代、奈良は手をいれることで、権勢を誇っているかのようだ。京都の貴族からは「南都」が君臨した。幕府が鎌倉から室町に変わっても、なお8世紀末の長岡京、後の平安京への遷都で、平城宮をさない宗教の権門として存続した。武家が和国の支配権を握

文 化

チェロ協奏曲など計6点のアルバムを録音した。情熱と気品を兼ね備えた演奏スタイルと圧倒的な技巧、そして美貌と、三拍子そろった新人として当初から人気を博す。偶然カリフォルニアで私は学生のころからアマチュアのオーケストラでチェロを弾き、チェロのレコードやCDを買って聴いてきた。チェロをこよなく愛するこの私でさえ、「あのワレフスカがまだ弾いている」とは想像もしていなかった。ところが2007年の

はひととき異彩を放つていた。若いころの録音にみられる情熱的な演奏はそのままだ。素晴らしい円熟の輝きを感じた。もうCDなどでしか聴けないうちで、彼女の手元で演奏する姿に驚かされた。私は感動に浸った。終演後、気がつくこと私たちが楽屋にいた。「日

の大手、エニオ・ボロニーニがワレフスカに大きな影響を与えた。カザルスら当時のチェロの巨人たちから「自分よりうまい」と絶賛されたボロニーニは、幼少時、スペインの巨匠セゴビアからギターの手ほどきも受けていたという。チェロでフランメンコギターの効果を発揮するような超絶技巧曲など、自身が演奏会で弾くための作品を数多く作曲した。他のチェロ奏者が弾くのを厳しく禁じたが、ワレフスカにだけは6曲をささげた。ボロニーニの死後、門外不出だった自筆譜を引き継いだのも彼女だ。音楽の流れを重視し、情熱的に歌い上げる演奏スタイルは間違いなくボロニーニの衣鉢を継ぐが、現代風ではない。「今の若い音楽家たちはコンクールで勝ち上がることにとらわれ、『安全のためのテクニク』を発達させてしまった」「ハイ

発見 幻の女性チェロ名手

◇南米に一時定住、情熱的スタイル掲げ36年ぶり来日へ◇

渡辺 一騎

20世紀の偉大な女性チェロ奏者と聞けば、大概の音楽ファンが、難病で音楽家生命を絶たれた英国の名手ジャクリーヌ・デュ・プレ(1945〜87年)を思い出すだろう。だが人気、実力ともにそのライバルだった米国人クリスティーン・ワレフスカの存在を知る人は、日本にどれだけいるだろうか。

ワレフスカはステレオLP全盛期の60〜70年代、オランダの「フィリップス」レーベル(現在はユニバーサルに吸収)で、エアフ・インバル指揮によるシューマンの

本から来た」というと、「まあそんな遠くから！日本には1974年に行ってきたりよ、懐かしいわ」と笑顔が返ってきた。アルゼンチンに拠点ワレフスカにも事情があった。18歳の時、アルゼンチンのブエノスアイレスのコロナ劇場でデビューしたが、もう一人、8歳で出会ったアルゼンチン

世の中には馬大学に助教として移籍した後、教授を経て、人がいるかも知れないが、た。先生の生き方には何度となく励まされた。高校を卒業して50年近いが、今も当時の同級生と年に数回は夫婦で集まっている。前田先生だ。82歳の今でも中国語を新たに勉強し、向上心のある生き方に変わりはな



クリスティーン・ワレフスカ(左から2人目)を囲んで。左端が筆者

「南米に一時定住、情熱的スタイル掲げ36年ぶり来日へ◇」

「まあそんな遠くから！日本には1974年に行ってきたりよ、懐かしいわ」と笑顔が返ってきた。アルゼンチンに拠点ワレフスカにも事情があった。18歳の時、アルゼンチンのブエノスアイレスのコロナ劇場でデビューしたが、もう一人、8歳で出会ったアルゼンチン

世の中には馬大学に助教として移籍した後、教授を経て、人がいるかも知れないが、た。先生の生き方には何度となく励まされた。高校を卒業して50年近いが、今も当時の同級生と年に数回は夫婦で集まっている。前田先生だ。82歳の今でも中国語を新たに勉強し、向上心のある生き方に変わりはな

ているその人たちと友だちに、り薪と空気が必要、まずこの かける。心が落ち着いて孤独

マン 義 方に変わりはな